

プロジェクト代表者	<b>玉置淳子(衛生学・公衆衛生学・教授)</b>
共同研究課題名	生活習慣病予防のための疫学的研究
目的	生活習慣病予防と健康寿命の延伸を目標として、以下のテーマを本研究の目的とする。 FORMEN 10年追跡調査により、骨粗鬆症性骨折が動脈硬化および脳心血管疾患のリスクを高めるか検討し、骨・血管連関に基づいた最近の知見を加味した骨折リスク評価モデルの開発を行う。
内容	FORMEN 研究(骨領域疫学調査)の10年次追跡調査に際し、動脈硬化評価項目を加え、骨粗鬆症性骨折の動脈硬化進展への影響を検討し、骨・血管連関に基づいた最近の知見を加味したリスク評価モデルに基づいた個々人のリスクに対応した予防策立案に繋げる。
学内共同研究者	顧 艶紅(衛生学・公衆衛生学・講師)
	林 江美(衛生学・公衆衛生学・講師)
	神谷訓康(衛生学・公衆衛生学・講師(准))
	新田明美(衛生学・公衆衛生学・助教)
	久藤麻子(衛生学・公衆衛生学・助教)
	柿花宏信(衛生学・公衆衛生学・助教)
	貫井裕次(衛生学・公衆衛生学・大学院生)
	兒島 茜(衛生学・公衆衛生学・大学院生)
	文元文美(衛生学・公衆衛生学・大学院生)
学外共同研究者	伊木雅之(近畿大学医学部公衆衛生学・教授)
研究費	3,000,000 円